

◀ 2025年6月19日(木) / 「新たなアプローチによる校内研修実践講座(第1回)」 ▶

# 『子どもへの性加害』

～性的グルーミングとは何か～

西川口榎本クリニック 副院長

演者: 斉藤章佳(精神保健福祉士/社会福祉士)

TEL: 048-240-1051(代表) / FAX: 048-240-1050

# 【『子どもへの性加害』】



- 「かわいいね」から始まる性的グルーミングとは何か
- 「簡単に言えば、ジャニーさんのことが嫌いじゃない。むしろ好きなんで、僕は……。いまでも大好きですよ」
- なぜ被害者は数年たった今でも加害者を尊敬しているのか。加害者のグルーミングの実態を知ることによって性被害の防止に役立つ希少な1冊。

(R5.11.29 幻冬舎新書より発売)

# 【参議院法務委員会(R5.6.13)】

<https://www.youtube.com/watch?v=8nfh6XhZ4Aw>



## ■ 参考人

- ① 小西聖子(武蔵野大学副学長／精神科医)
- ② 島岡まな(大阪大学副学長／刑法学者)
- ③ 嶋矢貴之(神戸大学大学院教授／刑法学者)
- ④ 斉藤章佳(大船榎本クリニック精神保健福祉部長／ソーシャルワーカー)

# 【性犯罪刑法改正(R5.7.13)】

## ■ 刑法性犯罪規定(改正ポイント)

- ① 「不同意性交等罪」を創設
- ② 性交同意年齢の引き上げ(5歳差要件)
- ③ 「性的グルーミング」を処罰対象に
- ④ 公訴時効の5年延長
- ⑤ 身体の一部や物の挿入も「性交」扱いに
- ⑥ 「撮影罪」の新設(※新法で規定)

# 【キッズライン事件(別紙参照)】

- モノのように扱われた生い立ち 20人に加害した「自己治療」の闇(朝日新聞.2022.8.3)
  - 「おまえなんて産まなければよかった！」
  - アルコール依存症の母親は、まだ幼かった自分にこう言った。酒を飲むと物を投げて暴れた。「刺し身包丁を投げられた時の、ニタニタ笑う母親の顔が忘れられない。」
  - 8歳の時、母親は働いていた居酒屋の店主と不倫して家を出て行った。小6の時、心筋梗塞で亡くなった。小学校でも中学校でもいじめられた。それが嫌で不登校になると、父親にあざができるまで顔を殴られた。
  - 「母親からの愛情に飢えており、その代わりになるものを探していた」東京地裁の法廷で橋本晃典被告(31)はこう語った。

# 【四谷大塚事件】

- 教え子盗撮の四谷大塚元講師に保護観察付判決「専門の指導が必要」(朝日新聞.2024.3.26)
- 塾講師の立場を利用し、被害者らに十分な性意識や警戒心がないのをいいことに撮影した。発覚しづらく、被害者の性的自由を侵害する危険性が高い犯行。各犯行は被告の性的嗜好に根ざしており、**再犯防止には専門機関の指導が必要**として、懲役2年保護観察付執行猶予5年をつけた。
- 『私は成人女性どころか中学生にも欲情できない**純粹型の小児性愛障害**なので、合法的に性欲を発散させる方法がほとんどありません。法を遵守すること自体が**生きづらさ**につながります。だからこそ、同じ生きづらさを持っている人たちとオンラインでつながるようになったのですが、それがまさに犯行のトリガーになりました(プログラムでの発言より)。』

# 【某累犯刑務所にて…】

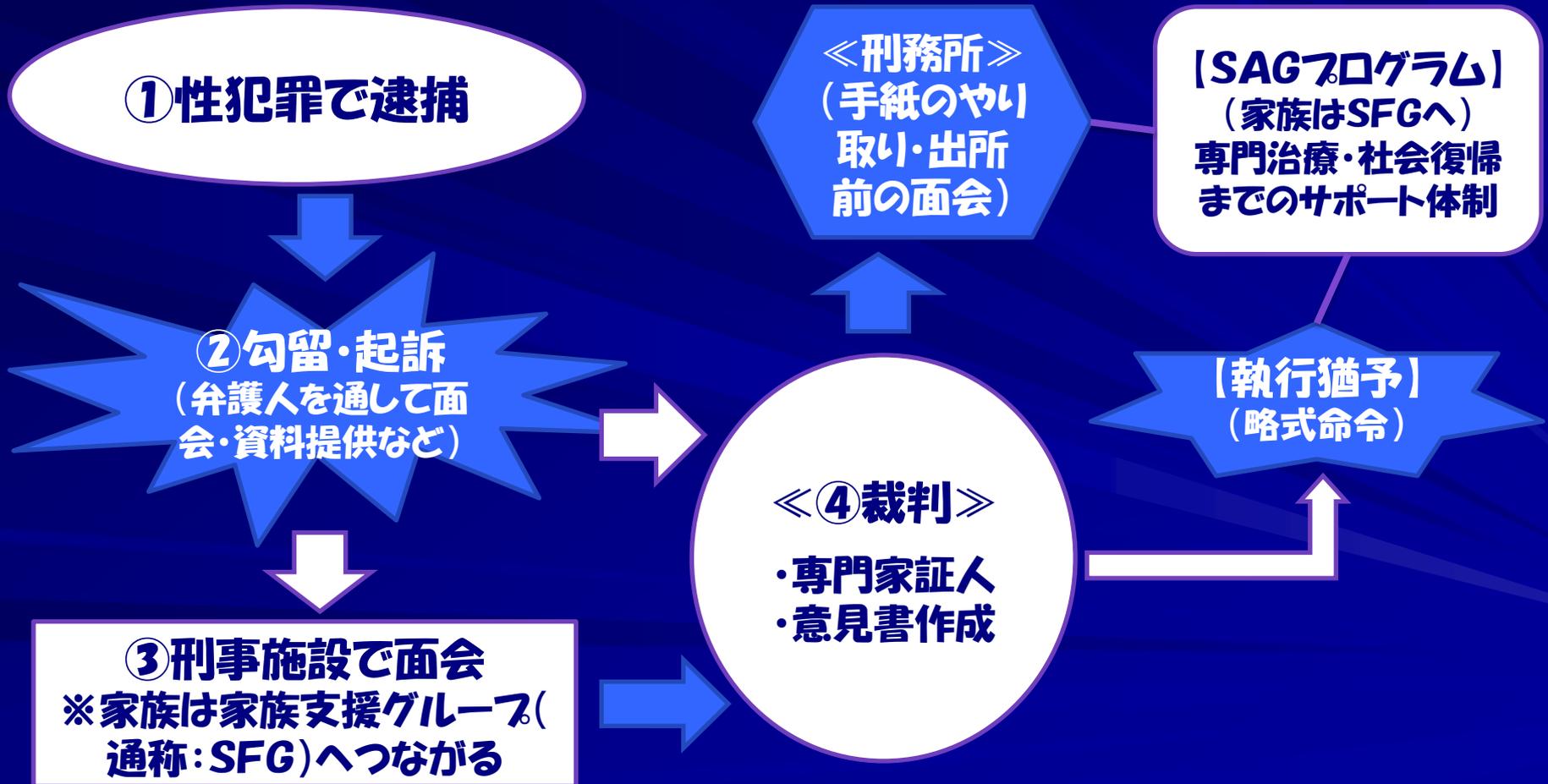
『先生、オレこのまま刑務所からでたくないよ。また絶対に小さい子をやってしまうのわかってるから…。』

➤ 彼のメッセージはいったい何を意味しているのか？



# 【シームレスな伴走型の関わり】

## ■ 司法サポートプログラム(2011年4月～)



# 【子どもへの性加害の実態】

- 性犯罪の中でも子ども性加害は**別格**。その**常習性**と**衝動性**は他の性加害の群を抜いている。子どもを見ると、まるでそれに**吸い込まれるように**近づいてしまふんだ(当事者談)。
- アメリカのジョナサン・エイフルの研究では「未治療の性犯罪者が生涯に出す被害者は**平均380人**であり、**延べ518回**の加害行為に及ぶ」と言われている(あらゆる性暴力を含む)。  
(Abel G,et al.:Sex offenders:Result of assessment and recommendations for treatment,In:Ben-Aaron MH,et al.,eds.:Clinical Criminology:The Assessment and Treatment of Criminal Behavior,M&M Graphics,1985:207-220)
- 性犯罪の有罪確定後、5年以内の再犯率は**13.9%**、法務総合研究所の調査(2015)によると子どもへの性犯罪前科**2回以上**の者の再犯率は**84.6%**。



# 【小児性愛障害について】

- 子どもに性的な関心を持つ人は、男性では人口の**5%**（女性は**1~3%**）、その対象は異性・同性どちらもある。

➤ Seto,M,C(2009).Pedophilia.The Annual Review of Clinical Psychology,5,391-407

## ■ 小児性愛障害のタイプ

① **純粹型: 13歳未満の児童のみが対象**

② **混合型: 13歳未満もそれ以上(成人)も対象**

➤ 『子どもへの性暴力は防げる！加害者治療から見えた真実』福井裕輝.時事通信社.2022

## ■ 小児性愛障害の診断の留意点

➤ 児童への性的嗜好は、必ずしも直接的な加害行為を含むわけではない。児童への性交を想起しながらも、生涯加害行為を実行に移さない人も一定数存在する。

➤ **児童ポルノ**と加害行為の関連性と「**セクシャリティ**」の複雑さ。

# 【性暴力とは①】

- 『性暴力は、性的欲求や衝動にのみよるものではない。それは**支配**や**優越**、**強さの主張**といった様々な欲求から行われる。性犯罪は決して衝動的に行われるものではなく、自己の欲求を充足させるため、**合目的的に**、いわば**計画的**に行われる。性犯罪は決して一過的な性の試みとして行われるものではなく、性犯罪行動の変化にターゲットを絞った特別な治療をしない限り、何度も繰り返される非常に**習癖性**の**高い行動**である。しかし、性犯罪者の査定と治療には特別な困難が伴い、従って**特別な訓練が必要とされる**』  
(Perry & Orchard, 1992)

# 【性暴力とは②】

## ■学習された行動

- 『痴漢として生まれてくる男性はいません。痴漢にないたくて生まれてきた男性もいません。彼らは社会の中で、自ら痴漢になるのです。』  
(『男が痴漢になる理由』はじめによい)



# 【性的グルーミングとは？】

① 顔見知りの人からの性的グルーミング  
(親・兄弟・教師など)

② 顔見知りでない人からの性的グルーミング  
(近所の人や通いすがいの人など)

③ SNSでのグルーミング  
(Instagram・Twitter・ゲームアプリなど)



# 【性的グルーミングの手口】

## ■ セルフグルーミングという概念(加害者構文)

あくまでこれは**性教育**なのだ。優しく教えてあげるのだから、犯罪ではないんだよ(口外禁止)。

この子もいずれ**セックス**を経験する時が来る。その前に僕が教えてあげる(二人だけの秘密)



# 【性的グルーミング(対面を想定)】 (Craven et al.,2006)

Self-  
grooming

- 加害者が自分の行動や認知を正当化していく

Grooming the  
environment  
and  
significant  
others

- 子どもの環境や重要な他者に働きかけていく
- 孤立しやすい、脆弱な子どもを見極めて近づく

Grooming  
the child

- 身体的 – 子どもの信頼を得て、境界線を侵害し始める
- 心理的 – 孤立させ、味方になり、二人だけの秘密を作る

被害者の行動や環境をコントロール



# 【性的グルーミングモデル】

## (Winters et al., 2020)

グルーミングモデルの段階	主な特徴と行動
Victim selection (被害者の選択)	・自信の欠如、孤独、困っている子ども、貧しい子ども、物理的・心理的に親が近くにいない、シングルマザーで「父親」を求めている。
Gaining access and isolation (子どもにアクセスし分離を進める)	・子どもを対象としたボランティア団体への関与、家族をコントロールしてアクセスする、大人がいない/子供だけの活動、お泊まり会、友達や家族から子どもを引き離す。
Trust development (信頼を発展させていく)	・魅力的、愛情深い、周囲の信頼を得ている、子どもに関心を向ける、褒め言葉、特別な関係、子どもとのコミュニケーションを増やす、子どもの好きな活動に関心を示す、報酬を与える、薬物やアルコールを提供する。
Desensitization to sexual content and physical contact (性的コンテンツや身体的接触に鈍麻させていく)	・子どもの性的経験や関係について質問する、彼ら自身がした性的なことについて話す、性的な言葉やジョークを言う、子どもに性教育をする、偶然の接触を行う、子どもが服を脱ぐのを見る、一見無邪気な接触をする、裸を見せる、児童ポル/を見せる、身体接触に馴れさせて性的接触を増やす。
Post-abuse maintenance (虐待後の維持行動)	・誰にも言わないように言う、秘密だという、「あなたを愛している/あなたは特別だ」、報酬を与える、罰を取り下げる、正常なことだと伝える、身体接触について誤った基準を伝える、責任を抱かせる、家族が壊れると脅す。

# 【加害者の考える性的同意】

- 小児性加害者の考える「同意」とは、自分の行為は受け入れられて当然であるという認知の歪みに支えられている(性加害と歪んだ承認欲求)。
  - ① **純愛幻想**: 子どもはだまって受け入れてくれていた(黙る=受容)。子どもの無知や弱さを巧みに利用する。
  - ② **飼育欲**: 子どもは何も知らないまっさらな存在。自分が教え、育てることで肉体的にも精神的にも成長させてあげることができる(ペット化している)。
  - ③ **支配感情**: 「かわいい」という価値について、「相手を絶対に脅かさないという保証」がそこには含まれる。
- 彼らの同意とは「**支配-被支配**」関係の中で成立する。

# 【認知の歪み(自己正当化理論)】

- 『先生は、今まで食べた**パンの枚数**を覚えているのですか？』
- 『私は他の加害者とは違います。だって挿入時は、ローションを使って**こどもが痛みを感じないように配慮**しています。』
- 相手が3歳だと記憶には残らないからある意味「**win-win**」ですよ。



# 【認知の歪みの本質①】

- 子どもや女性を性の対象として消費する社会
  - 「いやよいやよも好きのうち」とか、「女性が性犯罪に遭うのは落ち度があったからじゃないか」とか。加害者はこういった価値観を、もとはといえば家庭や学校、社会やメディアから学んでいるんですよ（**暗黙理論**）。社会の中にあるそういった価値観が変わらない限り、性加害する人たちはどんどん量産されていきます。目の前にいる加害者は、日本社会の縮図だといつも思っています。

「子どもへの性加害は「平均週2~3回」小児性犯罪のすさまじい実態」文春オンラインより

(<https://bunshun.jp/articles/-/39475>)

# 【認知の歪みの本質②】

<https://www.nhk.or.jp/minplus/0026/topic127.html>

## ■ 子どもを狙う盗撮・児童ポルノの闇(NHKスペシャルより)

性暴力を考える vol. 235

NHK

子どもへの性加害  
背景にあるのは  
“支配欲”



# 【まとめ】

## ■ 性暴力への認識をアップデートする！

- ① 刑罰や監視によるアフローチの限界と、医療モデル・教育モデル・社会福祉モデルを統合的に加えたアフローチの普遍化(Andrews & Bonta, 2010)。
- ② 関わる援助者が子どもへの性暴力に対する正しい知識と認識を持つこと(男児も対象になることやカミングアウトには相応の時間がかかること)。
- ③ 沈黙する第三者(サイレントマジョリティー)への啓発。沈黙は加害行為に間接的に加担すること。
- ④ 性犯罪の一次予防(啓発と教育)・二次予防(早期発見・早期介入・早期治療)・三次予防(再発防止)について。